

茨城大学基盤教育でのキャリア・グローバル教育の基本方針

(基本姿勢)

- ・ 学生の誰もが働くことが可能となり、その働きに個人的にも社会的にも意義を見だし、社会人・職業人として自立した生活が送れるように知識・能力を育む。
- ・ 地域から世界にわたって広がる多様な文化・社会のもとで、ダイバーシティの観点を理解し、多様な人々と協調して自律的に働く意識を育む。
- ・ 仕事のキャリアから人生のキャリアを考えることができるように、生涯にわたって主体的に学び考え続ける意識を育む。

(推進方策)

- ・ キャンパス外で行う教育プログラムを産学官や海外協定校との連携のもとで拡充・整備し、社会や世界とのつながりを深めた学内外協働の教育体制を構築する。
- ・ 上記の学外教育プログラムは、全学教育機構と学部が連携して、カテゴリー化（期間；短期、中期、長期；内容；語学研修、文化研修、インターンシップ等；単位認定；有無）を行い、各プログラムの達成目標を明示して、学生の多様な学外学修志向を満たすように整備する。
- ・ 教員-学生間のコミュニケーションの活性化や、学生同士の知的な切磋琢磨を導く能動的学修の方法を開発して広く取り入れる。
- ・ キャリア・グローバル教育の重要性を全ての教職員が理解し、学生のキャリア発達やグローバル志向を効果的に支える学生支援体制を、全学教育機構が中心になって構築する。
- ・ 実践的英語能力を含むコミュニケーション力を向上させる教育プログラムとして、グローバル英語プログラムに重点をおき、学生にとって魅力的で有意義なプログラムになるように、整備に努める。
- ・ サステナビリティ学をはじめとして、世界的にも特色ある教育研究分野を展開し、海外協定大学とのネットワーク化を図って、国際的な学生の相互交流を推進する。
- ・ 以上の方策は、専門教育と連携して、入学から卒業までを見通した一貫した体系で提供する。